

目次

まえがき 廣瀬 典昭…………… 1

I 道を造りて歩みし道 加藤 欣一

掌の中の「ひも」は世界平和にのびてる…………… 5

「伝える」と「伝わる」の違い／動機も出発も学生の時だった／湾岸戦争と髭の
少し哀しい話／豊かな感性と創造力の「真心」／土木技術者がもたらす国益

II 海外土木屋人生25年 土屋 紋一郎

老技師が言った「YOU ARE MY FAMILY」…………… 29

リハーサルのない土木のドラマ／紙幣と切手に印刷された橋／入社2カ月で
海外現場へ／「YOU ARE MY FAMILY」／土木技術者は魅力的な人間

III 地球公共財を創る土木技術者 吉田 恒昭

「飢えた子を前に何ができるか」を問いながら ……

55

転職ではなく天職だった／ひとりでアジアに向かう／アジア開発銀行の意義
／旅は終わっていない

IV ライフワークの途上国農業開発 佐藤 周一

受益者の「顔が見える、名前が見える、心も見える」 ……

79

8万ヘクタールの「小規模灌漑」／「輪」が連鎖して「環」に／民衆が支持し
た公共事業／嘘のような本当の話

V 日本と海外で造った10のダム 福田 勝行

労苦を共にして「人を育てる」「人が育つ」喜び ……

103

進路を決めた「建設」の社名／原初的技術と最先端技術の融合／海外の現場
から日本人が減少／人間は誰でも1日24時間

	VI	海外建設ビジネス実践考現学 市川 寛	
		「契約」は複合民族社会の必然のルールだった	127
		香港での「雑学研究始め」／『ヴェニス商人』に見る契約／公平性と対等性 と階級制度／技術プラス人間性が「技術力」	
	VII	国際社会を生き抜く技術―胆力と知力― 草柳 俊二	
		「プロブレムと向き合う旅」はまだまだ終わらない	153
		戦場の街で書いた論文／未開の島に都市を出現させる／「地図に残る仕事」 の現場／大学間の協定で人材育成支援	
		あとがき 佐藤 正則	179
		講演者の略歴	181
		「世界で活躍する技術者たちの懇話会 “夢” 開催記録	189
		土木学会 コンサルタント委員会 国際競争力特別小委員会 名簿	190
		用語解説	巻末
目		次	

【コンシエルジュ(コンシェルジュ)】

フランス語では、コンシエルジュは本来、「大きな建物、重要な建物の門番」という意味を持つ。現在では、ホテルの宿泊客のあらゆる要望や案内に対応する「総合世話係」「よろず相談承り係」というような職務を担う人の職名として使われている。

顧客のあらゆる要望に答えることをそのモットーとしていることもあり、「顧客の要望に対して」決してNOとは言わない人」との異名を持つ。